

愛知淑徳大学
平成25年度 入試結果

過去最多の志願者数
(1万6283人)が
集まる

平成25年度入試の総志願者数は、1万6283人で、昨年の1万5604人を若干上回りました。ここ9年間は連続して1万人を超え、本年度の総志願者数は前年比104.4%の微増となりました。

少子化で大学全入時代といわれる今日において、総志願者数が年々増加していることは、本学への評価と期待の高さの表れであるとも考えられます。

なお、本年度の各入試の動向としては、一般入試センタープラス方式で志願者増(前年比111.9%)になったのを始め、一般入試A方式(3教科)やB方式(2教科)、そしてC方式(1教科)の各入試についても昨年よりも志願者が増加しました(前年比/A方式:101.4%、B方式:102.7%、C方式:132.6%)。

それ以外の入試(アドミSSIONズオフィス入試I・II、公募制推薦入試、センター試験利用入試I・II期)については、志願者が微増なり、減少なりとさまざまな結果となりました(前年比/アドミSSIONズオフィス入試I:79.6%、アドミSSIONズオフィス入試II:101.6%、公

一般入試センタープラス方式

(本学独自試験1教科(科目)+大学入試センター試験2教科(科目)入試)

学部	学科(専攻)	定員	志願者	合格者	倍率
文学部	国文学科	8	256	65	3.9
	英文学科	8	186	67	2.8
	教育学科	8	251	99	2.5
人間情報学部	人間情報学科	16	316	188	1.7
心理学部	心理学科	15	399	173	2.3
メディアプロデュース学部	メディアプロデュース学科	24	478	280	1.7
健康医療科学部	医療貢献学科	2	75	10	7.5
	言語聴覚学専攻 視覚科学専攻	2	83	20	4.2
	スポーツ・健康医科学科	8	243	100	2.4
福祉貢献学部	福祉貢献学科	4	112	27	4.1
	社会福祉専攻 子ども福祉専攻	3	190	20	9.5
交流文化学部	交流文化学科	28	494	356	1.4
ビジネス学部	ビジネス学科	18	229	124	1.8

一般入試A方式(3教科入試)

学部	学科(専攻)	定員	志願者	受験者	合格者	倍率
文学部	国文学科	29	309	307	142	2.2
	英文学科	29	274	271	111	2.4
	教育学科	29	333	330	132	2.5
人間情報学部	人間情報学科	47	339	332	166	2.0
心理学部	心理学科	45	482	475	204	2.3
メディアプロデュース学部	メディアプロデュース学科	72	448	446	202	2.2
健康医療科学部	医療貢献学科	8	99	98	21	4.7
	言語聴覚学専攻 視覚科学専攻	8	62	62	23	2.7
	スポーツ・健康医科学科	28	256	252	83	3.0
福祉貢献学部	福祉貢献学科	14	165	163	62	2.6
	社会福祉専攻 子ども福祉専攻	10	288	285	25	11.4
交流文化学部	交流文化学科	82	752	749	405	1.8
ビジネス学部	ビジネス学科	55	288	281	156	1.8

一般入試C方式(1教科入試)

学部	学科(専攻)	定員	志願者	受験者	合格者	倍率
文学部	国文学科	4	91	88	26	3.4
	英文学科	4	89	85	47	1.8
	教育学科	4	134	118	8	14.8
人間情報学部	人間情報学科	8	249	238	80	3.0
心理学部	心理学科	8	208	195	18	10.8
メディアプロデュース学部	メディアプロデュース学科	12	289	273	43	6.3
健康医療科学部	医療貢献学科	2	47	45	6	7.5
	言語聴覚学専攻 視覚科学専攻	2	41	40	9	4.4
	スポーツ・健康医科学科	5	90	83	6	13.8
福祉貢献学部	福祉貢献学科	3	65	64	9	7.1
	社会福祉専攻 子ども福祉専攻	2	125	116	14	8.3
交流文化学部	交流文化学科	14	360	338	38	8.9
ビジネス学部	ビジネス学科	9	352	332	136	2.4

一般入試B方式(2教科入試)

学部	学科(専攻)	定員	志願者	受験者	合格者	倍率
文学部	国文学科	15	171	167	44	3.8
	英文学科	15	114	114	42	2.7
	教育学科	15	239	236	69	3.4
人間情報学部	人間情報学科	20	229	227	70	3.2
心理学部	心理学科	20	269	255	78	3.3
メディアプロデュース学部	メディアプロデュース学科	30	339	333	130	2.6
健康医療科学部	医療貢献学科	4	59	59	16	3.7
	言語聴覚学専攻 視覚科学専攻	4	61	60	19	3.2
	スポーツ・健康医科学科	12	155	152	32	4.8
福祉貢献学部	福祉貢献学科	7	93	85	25	3.4
	社会福祉専攻 子ども福祉専攻	4	86	85	6	14.2
交流文化学部	交流文化学科	36	255	248	127	2.0
ビジネス学部	ビジネス学科	23	208	203	73	2.8



※倍率=受験者/合格者

※一般入試センタープラス方式およびセンター試験利用入試I・II期、アドミSSIONズ オフィス入試 Iは、志願者=受験者



募制推薦入試：102.0%、センター試験
利用入試Ⅰ期（3・4教科（科目）型）：8
3.9%、センター試験利用入試Ⅱ期（2教
科（科目）型）：78.2%。

昨今、全国各地の大学で18歳人口の減
少による志願者の減少や二極化、不景気
による受験者の安全志向など、学生募集
の環境はますます厳しさを増しています。
今回の結果に満足することなく、現実を
見つめて来年度の入試も、全学をあげて
努力してまいる所存ですので、一層のご
協力とご支援をお願いいたします。

公募制推薦入試（基礎学力重視型）

学部	学科（専攻）	定員	志願者	受験者	合格者	倍率
文学部	国文学科	15	147	146	65	2.2
	英文学科	15	99	93	42	2.2
	教育学科	15	77	77	36	2.1
人間情報学部	人間情報学科	36	107	107	85	1.3
心理学部	心理学科	27	185	183	44	4.2
メディアプロデュース学部	メディアプロデュース学科	45	228	228	131	1.7
健康医療科学部	医療貢献学科	8	53	53	12	4.4
	言語聴覚学専攻 視覚科学専攻	8	33	33	23	1.4
	スポーツ・健康医科学科	20	116	116	30	3.9
福祉貢献学部	福祉貢献学科	14	64	64	41	1.6
	社会福祉専攻 子ども福祉専攻	10	107	107	14	7.6
交流文化学部	交流文化学科	51	217	208	133	1.6
ビジネス学部	ビジネス学科	34	179	177	120	1.5

センター試験利用入試Ⅰ期（3教科（科目）型）

学部	学科（専攻）	定員	志願者	合格者	倍率
文学部	国文学科	4	71	32	2.2
	英文学科	4	87	44	2.0
	教育学科	4	60	30	2.0
人間情報学部	人間情報学科	10	72	38	1.9
心理学部	心理学科	8	94	32	2.9
メディアプロデュース学部	メディアプロデュース学科	15	113	52	2.2
健康医療科学部	医療貢献学科	2	32	12	2.7
	言語聴覚学専攻 視覚科学専攻	2	18	6	3.0
	スポーツ・健康医科学科	4	51	26	2.0
福祉貢献学部	福祉貢献学科	3	26	14	1.9
	社会福祉専攻 子ども福祉専攻	2	42	10	4.2
交流文化学部	交流文化学科	17	126	73	1.7
ビジネス学部	ビジネス学科	12	52	29	1.8

アドミッションズ オフィス入試Ⅰ

学部	学科（専攻）	定員	志願者	第1次選考 合格者	第2次選考 受験者	第2次選考 合格者	倍率
文学部	国文学科	若干名	5	4	4	1	5.0
	英文学科	若干名	5	5	5	2	2.5
	教育学科	若干名	3	2	2	2	1.5
人間情報学部	人間情報学科	若干名	8	6	6	6	1.3
心理学部	心理学科	若干名	4	1	1	1	4.0
メディアプロデュース学部	メディアプロデュース学科	若干名	10	6	4	3	3.3
健康医療科学部	医療貢献学科	若干名	2	2	2	1	2.0
	言語聴覚学専攻 視覚科学専攻	若干名	2	1	1	0	-
	スポーツ・健康医科学科	若干名	13	10	8	5	2.6
福祉貢献学部	福祉貢献学科	若干名	3	2	1	1	3.0
	社会福祉専攻 子ども福祉専攻	若干名	3	3	3	2	1.5
交流文化学部	交流文化学科	若干名	12	11	7	6	2.0
ビジネス学部	ビジネス学科	若干名	16	16	14	5	3.2

センター試験利用入試Ⅰ期（4教科（科目）型）

学部	学科（専攻）	定員	志願者	合格者	倍率
文学部	国文学科	3	46	24	1.9
	英文学科	3	31	23	1.3
	教育学科	3	39	20	2.0
人間情報学部	人間情報学科	7	33	17	1.9
心理学部	心理学科	6	88	30	2.9
メディアプロデュース学部	メディアプロデュース学科	10	48	22	2.2
健康医療科学部	医療貢献学科	2	14	5	2.8
	言語聴覚学専攻 視覚科学専攻	2	14	6	2.3
	スポーツ・健康医科学科	4	28	20	1.4
福祉貢献学部	福祉貢献学科	2	25	12	2.1
	社会福祉専攻 子ども福祉専攻	2	20	6	3.3
交流文化学部	交流文化学科	10	97	72	1.3
ビジネス学部	ビジネス学科	9	40	28	1.4

アドミッションズ オフィス入試Ⅱ

学部	学科（専攻）	定員	志願者	受験者	合格者	倍率
文学部	国文学科	10	34	33	14	2.4
	英文学科	10	30	29	14	2.1
	教育学科	10	26	26	9	2.9
人間情報学部	人間情報学科	30	44	44	31	1.4
心理学部	心理学科	27	46	46	27	1.7
メディアプロデュース学部	メディアプロデュース学科	45	128	128	52	2.5
健康医療科学部	医療貢献学科	8	19	19	7	2.7
	言語聴覚学専攻 視覚科学専攻	8	27	27	8	3.4
	スポーツ・健康医科学科	18	56	56	14	4.0
福祉貢献学部	福祉貢献学科	14	27	27	16	1.7
	社会福祉専攻 子ども福祉専攻	10	30	30	8	3.8
交流文化学部	交流文化学科	51	102	102	56	1.8
ビジネス学部	ビジネス学科	34	55	54	37	1.5

※募集人員（=定員）はアドミッションズ オフィス入試Ⅰ・Ⅱの合算です。

センター試験利用入試Ⅱ期（2教科（科目）型）

学部	学科（専攻）	定員	志願者	合格者	倍率
文学部	国文学科	2	15	6	2.5
	英文学科	2	20	7	2.9
	教育学科	2	15	6	2.5
人間情報学部	人間情報学科	6	34	15	2.3
心理学部	心理学科	6	22	7	3.1
メディアプロデュース学部	メディアプロデュース学科	8	39	16	2.4
健康医療科学部	医療貢献学科	2	5	2	2.5
	言語聴覚学専攻 視覚科学専攻	2	4	3	1.3
	スポーツ・健康医科学科	3	11	4	2.8
福祉貢献学部	福祉貢献学科	2	4	3	1.3
	社会福祉専攻 子ども福祉専攻	2	10	5	2.0
交流文化学部	交流文化学科	8	31	16	1.9
ビジネス学部	ビジネス学科	7	31	20	1.6



愛知淑徳中学校
平成25年度 入試結果

志願者数は1011人、実質競争倍率は1.8倍
中高一貫校への更に高まる期待と関心

入試科目と試験時間・配点

科目	試験時間	配点
国語	50分	100点
算数	50分	100点
社会	あわせて60分	50点
理科		50点

受験者の平均点、最高点・最低点

科目	全受験者	最高点	最低点
国語	63.1(53.5)	98	16
算数	47.8(54.9)	99	0
社会	32.8(29.6)	49	14
理科	30.6(29.3)	48	6
計	174.4(167.3)	273	42

※()内は前年度

合格者の平均点、最高点・最低点

科目	合格者全体	最高点	最低点
国語	70.7	98	36
算数	59.9	99	30
社会	36.5	49	23
理科	34.5	48	20
計	201.6	273	172



中高完全貫体制も2年を経過し、2012年度卒業生の大学受験が始まろうとする2月3日、2013年度の愛知淑徳中学校入学試験が実施されました。

公立高校の授業料無償化が浸透し、確かに公立高校へは進学しやすくなったとはいえ、15歳という多感な時期での高校受験の存在はやはり大きく重いものがあります。進学しやすくなったことで公立高校の受験競争はより熾烈になり、中学生生活をより豊かで充実したものにしたいと考えれば、受験生にも父母にも中高一貫校の意味が大きなものであることには変わりありません。また、高校受験によって分断されないカリキュラムの合理性は、その後の大学受験を考えるとますます重要になってきていると言えます。

本校では、受験科目が国算社理の四教科、定員280人という体制もすっかり定着し、2月最初の日曜である2月3日(日)に実施しました。他校については、南山中(女子部)が本校の前日の2月2日(土)、金城学院中と愛知中が1月26日(土)、聖霊中が1月27日(日)、椋山女子園中は本校と同じ3日(日)、滝中は2月10日(日)と、昨年度に準じた日程で実施されました。

今年度入試の本校への志願者は1011人、受験者は954人でした。本年度は当日の欠席も少なく、受験者数は昨年度を上回りました。その結果、合格者は531人となり、実質競争倍率は1.8倍でした。昨年度は全教科とも得点率が6割に届きませんでした。今年度は算数を除いて6割以上の得

点率となり、合格最低点は172点、得点率57.3%と昨年度を上回って、実力伯仲の入試となりました。その後、繰上げ合格者を4人出し、最終的な入学者は284人となりました。

高校入試のない完全中高貫カリキュラムも2年を経過し、今春には早くもその第二期生が卒業しました。高校2年から文型・理型に分かれるカリキュラムも定着し、中高6年一貫教育が順調に動き始めています。本校の中高一貫教育が一人でも多くの受験生や保護者の理解を得て、来年度はさらに多くの受験生が本校を志望してくれることを期待しています。